JR東日本ニュース

2026 年 11 月 24 日
東日本旅客鉄道株式会社

「第 12 回女性技術者育成功労賞」の受賞について

一般社団法人技術同友会（以下「技術同友会」）が主催する「第 12 回女性技術者育成功労賞」において、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢陽一、以下「JR 東日本」）の電気部門に所属する社員が個人優秀賞を受賞しました。本賞は、女性技術者（研究者）の育成に対する功績を表彰することを目的として創設され、JR 東日本社員の受賞は 4 度目となります。

■女性技術者育成功労賞について

今回、個人優秀賞を受賞したのは、八王子事業本部に所属する阿部智美です。

女性技術者育成功労賞は、技術同友会によるダイバーシティ推進、産業界への女性技術者登用・任用の推進支援活動の一環として 2014 年に創設された、女性技術者（女性研究者含む）育成に顕著な成果をあげた方々の表彰制度です。毎年 1 回、技術同友会の会員・非会員を問わず企業や大学等から候補者の推薦を募り、受賞者が決定されます。

「第 12 回女性技術者育成功労賞」

協賛：一般財団法人　新技術振興渡辺記念会、一般社団法人　科学技術と経済の会

後援：内閣府男女共同参画局、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省

■女性活躍推進の取り組みについて

JR 東日本では会社発足以降、女性の採用と職域拡大に積極的に取り組んでいます。現在、女性社員は約 8,830 名と社員全体の約 2 割となり、技術系分野を含む全ての部門で女性社員が活躍しています。また、女性社員の活躍フィールドのさらなる拡大と自律的なキャリア形成を強化すべく、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画において 2027 年度までに管理職に占める女性比率 10%以上という目標を掲げています。女性をはじめとする多様な社員一人ひとりの挑戦と活躍を後押しする DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）推進の取り組みを通じて社員の意欲や働きがいを創出し、グループの持続的な成長を実現していきます。



阿部　智美（写真左）

【女性管理者として変電設備更新に携わった当時】



阿部　智美

【表彰式：11 月 19 日開催】

■女性技術者育成功労賞　受賞者の経歴について

阿部智美は、電力分野において、設備保守の第一線職場における初の女性管理者を務めるなど、女性技術者の先駆者としてキャリアを切り拓き、その後に続く女性技術者の進む道を切り開いてきました。また、後進の育成や女性技術者が活躍できる職場環境づくりにも継続して取り組んできたことが評価され、受賞に至りました。

阿部　智美（あべ　ともみ）

1996 年に入社し、東京エリアの電力設備の保守業務に従事。その後、工事部門での経験を経て、大宮・栃木エリアの電力保守職場において、設備保守や人材育成などのマネジメント業務を担当しました。出産・育児後は、震災復旧やプロジェクト工事の計画・管理業務に携わるとともに、電力設備の保守部門において管理職を務めました。

その後は、新幹線の電力設備をはじめ、保守・建設の両分野で幅広い業務を経験し、電気関係の工事部門における組織運営やマネジメントにも携わるなど、第一線から組織運営まで幅広く経験を重ねてきました。

（現職：八王子事業本部　設備部長）

■これまでの受賞について

【参考】社員の受賞実績　※役職は受賞当時

2018 年度：鈴木　孝子（総合企画本部品川・大規模開発部　次長）

2021 年度：小林　千佳（新宿南エネルギーサービス㈱　社長）

2024 年度：西城　香織（日本高速鉄道電気エンジニアリング㈱技術本部電力部　部長）

安岡　和恵（電気システムインテグレーションオフィス　マネージャー）

※2024 年度は個人賞を連名で受賞